

2022夏の経済教室
職業選択を「公共」で教える
安藤至大先生ご講演の前に

東京都立農業高等学校 塙枝里子





職業選択を「公共」で教える

1. 学習指導要領における職業選択の扱い
2. ~~（新科目「公共」・教科書における扱い）~~
3. 2年前の実践報告は今
4. ウィズコロナ時代の授業へ



Ⅰ. 学習指導要領における 職業選択の扱い

新科目「公共」で職業選択が経済分野に

(3) 主として経済に関わる事項

(ウ) 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解すること。

→ 「B 自立した主体としてより良い社会の形成に参画する私たち」で想定される13主題のうち、6つが経済分野となり、その一つに「職業選択」が追加された



解説では

職業選択については、現代社会の特質や社会生活の変化との関わりの中で職業生活を捉え、望ましい勤労感・職業観や勤労を尊ぶ精神を身に付けるとともに、今後新たな発想や構想に基づいて財やサービスを創造することの必要性が一層生じることが予想される中で、自己の個性を発揮しながら新たな価値を創造しようとする精神を大切にし、自らの幸福の実現と人生の充実という観点から、職業選択の意義について理解できるようにする。

その際、「産業構造の変化やその中での起業について理解を深めることができるようにすること」（内容の取扱い）が必要であり、グローバル化や人工知能（AI）の進化などの社会の急速な変化が職業選択に及ぼす影響を理解できるようにするとともに、新たな発想に基づいて財やサービスを創造する必要性が予想される中で、社会に必要な起業によって、革新的な技術などが新たな雇用を創出することなど経済的に大きな役割を果たしている企業もあることを理解できるようにすることが考えられる。



解説では

(続き)

なお、実際に職業を選択する前には、特別活動などにおいてインターンシップ（事業所等における就業体験）に参加することなどによって働くことの意義について「具体的な体験を伴う学習」（各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い）を通して考察することが考えられる。その際、「この科目においては、教科目標の実現を見通したうえで、キャリア教育の充実の観点から、特別活動などと連携し、自立した主体として社会に参画する力を育む中核的機能を担うことが求められることを留意すること」（内容の取扱い）が必要であり、企業についての情報を十分に集めるなどの事前の準備が大切であること、また、インターンシップへの参加によってどのように職業観が変わったかなどについて振り返る活動が必要であることに留意する必要がある。

高等学校学習指導要領解説公民編（平成30年7月文部科学省）



そのため「公共」の職業選択は

キャリア教育を背景とする現行「現代社会」の「（2）現代社会と人間としての在り方生き方」における「自己実現と職業生活」と関連させながら、労働経済学を背景とした教科書の記述や授業案が求められるのではないか。



3. 2年前の実践報告は今



当時の問題意識

キャリア教育を背景とする現行「現代社会」の「（2）現代社会と人間としての在り方生き方」における「自己実現と職業生活」とは一線を画し、労働経済学を背景とした教科書の記述や授業案が求められる。

エコノミストとつくる労働の授業

椅子取りゲームで労働市場を捉える試み

タイトル：職業の経済学

対象：1学年必修「現代社会」

時数：1時間（～2時間）

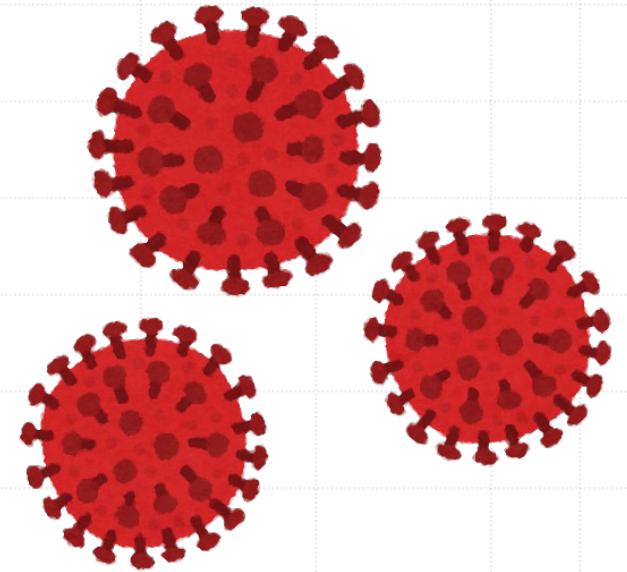
ねらい：椅子取りゲームを用いて労働市場の概要を理解する
産業構造の変化、人工知能（AI）の進化、
多様な労働環境、雇用のミスマッチなどに気づき
これからの時代における職業選択を考察する



しかし、状況は一変

- ・ 2020年新型コロナウイルス感染拡大
- ・ 感染対策の徹底
- ・ 対話的な学びへの制限 → 徐々に緩和

→ 椅子取りゲームのホワイトボード化は失敗
残念ながら2年間継続して終了



一方、働き方は急速に変化した

- ・ 働き方改革関連法案の施行（2019年4月1日から順次）
- ・ テレワーク・リモートワークの普及
- ・ 副業・複業人口が増加

→ 広がる格差、新たな問題（例：自宅内での場所確保）
働き方・生き方の価値観はますます多様に



▶ 4. ウィズコロナ時代の授業へ



安藤先生のご講演でお伺いしたいこと

- ・ 職業選択「公共」の授業に期待すること
- ・ 「公共」の教科書を概観した感想、不足や補足事項など
- ・ 高等学校でおさえるべき労働経済学の基礎はあるのか

(→当時の問題意識は修正され、キャリア教育と関連させた公共における職業選択の授業が必要と考えるようになった)



参考文献など

- ・ 安藤至大・高橋亮子, 2021, 就活最強の教科書, 『経済学部教授とキャリアコンサルが教える就活最強の教科書』, 日経BP
- ・ 「令和3年度テレワーク人口実態調査」, 2021, 国土交通省
- ・ 阿部正浩・菅万理・勇上和史編著, 2017, 『職業の経済学』, 中央経済社
- ・ 大内伸哉・川口大司, 2014, 『法と経済で読みとく 雇用の世界 ―これからの雇用政策を考える 新版』, 有斐閣